

金融市場NOW

商品価格下落 世界景気の減速感強まる

米中貿易摩擦を受け、中国の景気悪化懸念も

- ▶ 国際商品市場において、主要商品価格が軒並み下落基調となっている。
- ▶ 米中貿易摩擦の激化により、主要な需要国である中国の景気減速が懸念されていることが要因か。
- ▶ 足元では需要減不安が強く意識されている。商品相場の回復には、実需の持ち直しが必要となるか。

国際商品市場において、原油や銅、金をはじめとする主要商品価格が軒並み下落基調となっています。エネルギーや農産物、金属など主要な19品目で構成され、総合的な商品の値動きを示すC R B指数は直近で高値を付けた5月23日からおよそ6.9%の下落となっています（8月24日時点）（図表1）。米中貿易摩擦の激化により、主要な需要国である中国の景気減速が懸念されており、世界的に商品の需要が落ち込むとの観測が強いことに加え、外国為替市場においてドル高が進行し（図表2）、ドル建てで取引される国際商品に割高感が出て売り圧力が強まったことが下落の要因とみられています。

米中貿易摩擦により、中国の需要減速懸念が特に強まったのが銅やアルミニウムなどの非鉄です。建材や自動車などの幅広い分野で使用され、世界景気に敏感とされる銅価格は年初からおよそ16.0%下落し（8月24日時点）、2017年7月中旬以来の安値水準となっています（図表3）。米国は中国に知的財産侵害に対する制裁関税を発動しており、銅は関税の対象となった自動車や産業用ロボット等にも使用されています。貿易摩擦激化により中国の生産活動が落ち込むこととなれば、銅の需要がさらに減少する可能性も予想されます。

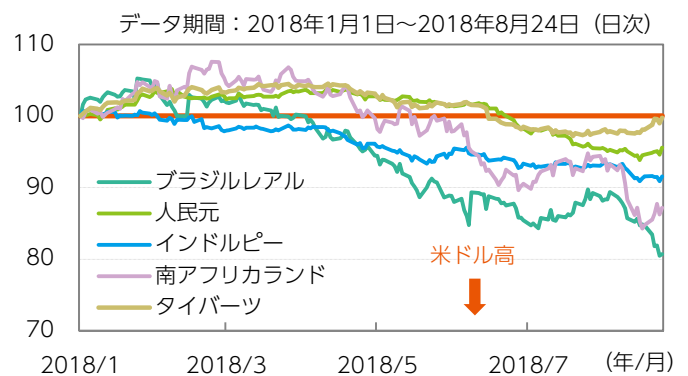
景気減速の兆候を感じた投資家がリスク回避姿勢を強めていることに加え、今後の米中貿易摩擦の激化懸念から、足元では需要減不安が強く意識されている状況です。商品相場の回復には、実需の持ち直しが必要となりそうです。

図表1：C R B 指数は直近高値から6.9%下落



※ C R B 指数の推移

図表2：ドル高の進行は商品の売り圧力を高める



* 2018年1月1日を100として指数化

※ 新興国通貨（対米ドル）の推移

図表3：銅価格はおよそ昨年夏以来の安値水準に



※ 銅（LME3ヵ月先物）価格の推移

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>